

本当の教えに出遇うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換

無碍の一通 第67号

発行:2019年4月25日
発行者:淨土真宗本願寺派 長尾山 天龍寺
〒739-0147 副住職 天野英昭
東広島市八本松西6丁目10番1号
TEL・FAX 082-428-1360

宗祖親鸞聖人降誕会法座

日 時 5月16日(木) 9:00~15:00頃

朝席 9:00~ 暮席 13:00~

ご講師 朝枝 晓範 師(北広島町 本立寺住職)

第91回歎異抄輪読会

日 時 5月23日(木) 19:00~20:30頃

ご講師 松田正典先生(広島大学名誉教授)

費 用 500円

参加者 天龍寺の門信徒の方のみならず、どなたでも参加は自由です

安居会法座

日 時 6月17日(月) 9:00~15:00頃

朝席 9:00~ 暮席 13:00~

講 師 天野 英昭 (天龍寺副住職)

川上佛教婦人会法座

日 時 7月7日(月) 9:00~15:00頃

総会 10:00~ 暮席 13:00~

講 師 松林 行圓師 (安芸高田市 善立寺住職)

★天龍寺佛教婦人会 天龍寺清掃奉仕 6月8日(土) 13:30~15:30

天龍寺佛教婦人会法座並びに演奏会のお礼

先月4月14日（日）に当山で、天龍寺佛教婦人会法座並びに演奏会がありました。遠近各地より、多くの方のご参詣をいただきました事、厚く感謝申し上げます。さらに法座・演奏会を行うにあたり前日より天龍寺佛教婦人会・天龍寺佛教壯年会のみなさまにはお忙しい中、お手伝いをいただきました事に重ねて感謝申し上げるしだいです。

演奏会に来てくれました小玉さん・高野君には東京より駆けつけてくれてありがたいと思ったことでもあります。また、来年も二人が来てくれ、演奏をしてくれます。また、みなさま方のご理解・ご支援・ご協力等を賜りながら、この度の様な縁をいただけましたらありがたいと存じます。

人生も色々だと感じさせていただいております。（Ⅱ）

さらに話は展開しますが、私はこれまで花を見ます時には、ついつい花が咲いているときばかりに気を取られていきました。しかし、よく見ますと花を咲かすことなく蕾のままで散っていく命もあれば、蕾になる前に枝木こと強風などにあおられ散っていく命もあると思う事もあります。さらに枯れて散っていくはずなのに枯れた状態で花びらが枝にくっついていることもあります。この様な花の命を見ていますと、あらためて人間の命も自然界の営みの如く、お気をくされましたらご理解をいただければありがたいと存じますが、散り方は様々だと感じる事あります。

また、この点も私なりに還暦を過ぎ感じていることありますが、比較の世界に生を受けた故に、物心ついたころから勝った・負けた、得した・損した、仕事が出来る・仕事が出来ない、役に立つ・役に立たない等の評価にいつも翻弄され、一方でその様な評価におびえながらの人生を過ごしていかなくてはならない宿命と申しましょうか、その様な定めの中での人生であると思う事です。

さらに私の様に退職し、勝った・負けた、得した・損した、役に立つ・役に立たない等と振り回されていた世界から少し解放されましても、自分自身の身体が「腰が痛い・手があがらない・膝が痛い」等と常に身体のどこかに痛み等を抱え、日々衰えていく自分を鑑みますと限りのある自分であるために日々身体が衰えていくと理解をしておりながら何とか健康を維持しようと努めている自己であり、言葉を代えますと自分の身体の事等に振り回されながら生きている自分を思う事あります。

重ねて申しますが、退職するまでは勝った・負けた、得した・損した、役に立つ・役に立たない等の価値観に翻弄され、歳を取りますと今度は自分の健康等に翻弄され、ある意味一生様々な物に翻弄されながら生きていかなくてはならない高飛車な言い方になりますが、哀しい存在であると近頃感じる事あります。

私には、3人の子どもがありますが、「子どもが学校を卒業し社会人になり、子どもに手がかかるくなればどんなにか楽になるだろうかと子育てしているときに度々思いましたが、いざ手が離れましても全然楽にならない自分に気付く事もあります。」

お釈迦様が、菩提樹のもとでお悟りをされ、お弟子に「この世は苦である。」とご説法をされました。「苦とはこの境涯は自分の思い通りにならない故に苦」と言われたことあります。還暦を過ぎお釈迦様が言われました「この境涯は自分の思い通りにならない境涯である。」という言葉を60年近く生きて来た中で実感することあります。